

大規模公共事業評価再評価調書の概要

おぐらやま 小倉山の2 地域連携道路整備事業（地域密着型）

担当部：県土整備部 道路建設課

1 事業概要（路線名：主要地方道花巻大曲線、所在市町村：西和賀町）

○事業目的： 主要地方道花巻大曲線は、岩手県花巻市の国道4号を起点とし、西和賀町を經由し、秋田県大仙市に至る幹線道路である。

花巻市と西和賀町の間にある中山峠を含む当該地区は、幅員狭小・急勾配・急カーブが連続し、また、落石や積雪による通行止めが度々発生しており、円滑な交通の支障となっている。

このことから、当該事業においてこれらを解消し、安全で円滑な交通の確保を行うとともに、観光周遊ルートの形成や物流支援、緊急医療へのアクセス向上に資するものである。

○事業内容：計画延長 L=2,380m、計画幅員 W=5.5(7.0) m

道路改良 L=940m

4号トンネル L=1,034m、5号トンネル L=294m

8号橋 L=41m、9号橋 L=40m、10号橋 L=25m

○事業期間：平成14年度～令和6年度（前回再評価時：令和6年度）

○総事業費：6,700百万円（前回再評価時：6,370百万円）

令和3年度までの投資額：5,039百万円、進捗率：75.2%（事業費ベース）

2 事業の進捗状況等

○計画延長2,380mのうち、終点から900m区間（5号トンネル、9号橋、10号橋）の整備が完了しており、通行の安全性・快適性が向上している。

○用地買収がすべて完了しており、8号橋の上部工が完成しているほか、令和3年5月までに4号トンネル1,034mのうち590mの掘削が完了している。

3 社会経済情勢等の変化

○社会経済情勢等の大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。

○花巻市、西和賀町のほか、主要地方道花巻大曲線花巻沢内間整備促進期成同盟会から整備促進を求める要望がある。

4 コスト縮減対策及び代替案

○LED照明灯への変更により、31百万円の縮減を図ることとしている。

○事業進捗率は75.2%（事業費ベース）であり、現時点で予想される社会経済情勢、自然環境等の大きな変化が無い場合、代替案立案の可能性は無い。

5 総合評価

○事業全体のB/Cは0.6未満であるため、「要検討」と評価した。

○「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、用地取得は完了しており、900mを部分供用しているほか、主要構造物である4号トンネル築造工事が順調に進んでいる。

○「社会経済情勢等の変化」については、現道において、度々法面の崩落や積雪による全面通行止めを行っており、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの安全性の確保へ大きな影響を及ぼしている。

○以上のことから、総合評価を「事業継続」とした。

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)		補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課															
路線名等	主要地方道花巻大曲線	地区名	あぐらやま 小倉山の 2		市町村	西和賀町														
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕																			
	(1) 事業目的																			
	○路線の位置付け ・ 主要地方道花巻大曲線は、花巻市の国道 4 号を起点として、西和賀町を經由し、秋田県大仙市に至る幹線道路である。 ・ 花巻市と西和賀町の間にある中山峠を含む当該地区は、幅員狭小・急勾配・急カーブが連続し、また、落石や積雪による通行止めが度々発生しており、円滑な交通の支障となっている。 ○整備によって得られる効果 ・ 幅員狭小や急勾配、急カーブの解消により安全で円滑な交通機能が確保される。 ・ 観光周遊ルートの形成や物流支援、緊急医療へのアクセス向上につながる。																			
	(2) 事業内容																			
(3) 整備目標等																				
・ 幅員狭小や急カーブのほか、落石等の通行危険箇所の解消：2,380m																				
事業着手	H14年度	事業計画期	H14	～	R6	今回再評価時全体計画期間	用地着手	H14年度	工事着手	H14年度										
			R6 前回再評価時全体計画期間					H20 (当初全体計画期間)												
事業費	事業費の状況 [百万円]																			
	当初計画総事業費 (H14年)	前回再評価時総事業費 (H28年)	再評価時総事業費 (R3年)A	H14年～R1年			R2年		R3年		投資事業費	進捗率								
	(うち用地費)	(うち用地費)	(うち用地費)	B	C	D	E=B+C+D		財源		F=E/A									
	5,000.0 (10.0)	6,370.0 (10.2)	6,700.0 (12.5)	3,485.2 (11.8)	1,012.8 (0.0)	541.0 (0.7)	5,039.0 (12.5)		国庫 2,648.7 県 2,390.3 他 0.0	75.2%										
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況																			
	ア 整備効果の発現状況																			
	・ 現在までに、全体2,380mのうち終点側900m (5号トンネル、9号橋、10号橋) が完成しており、平成19年2月に部分供用を開始している。 イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し 令和元年度 8号橋上部工工事が完了 令和2年度 4号トンネル掘削工事に着手 令和3年度 4号トンネル掘削工事の進捗状況：掘削延長590m 令和6年度 事業完了予定 ○ 中項目評価は、事業進捗は順調であり、完成の見通しが立っていることから「a」とした。																			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>a</td> <td>,</td> <td>b</td> <td>,</td> <td>c</td> </tr> </table>											中項目評価	a	,	b	,	c			
中項目評価	a	,	b	,	c															
(2) 事業計画の変更の有無及び内容																				
総事業費 6,370百万円 → 6,700百万円 ① トンネル工において、重金属が含まれる地質が確認されたことによる対策工の検討及び追加による増額																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>増額理由</td> <td>330 百万円</td> </tr> <tr> <td>①重金属対策による増額</td> <td>120 百万円</td> </tr> <tr> <td>②支保工変更による増額</td> <td>210 百万円</td> </tr> </table>											増額理由	330 百万円	①重金属対策による増額	120 百万円	②支保工変更による増額	210 百万円				
増額理由	330 百万円																			
①重金属対策による増額	120 百万円																			
②支保工変更による増額	210 百万円																			
② トンネル掘削における脆弱な地層に伴う増額 ○ 金額は増額となるものの、事業内容等に大幅な変更はないため、中項目評価を「b」とした。																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>a</td> <td>,</td> <td>b</td> <td>,</td> <td>c</td> </tr> </table>											中項目評価	a	,	b	,	c				
中項目評価	a	,	b	,	c															
○ 中項目評価が、「a」、「b」で有ることから、大項目評価を「A」とした。																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価</td> <td>AA</td> <td>,</td> <td>A</td> <td>,</td> <td>BB</td> <td>,</td> <td>B</td> <td>,</td> <td>C</td> </tr> </table>											評価	AA	,	A	,	BB	,	B	,	C
評価	AA	,	A	,	BB	,	B	,	C											

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

- ・「被災地の復旧・復興、防災・減災対策」、「社会資本の老朽化への対応」、「国民生活の安全・安心の確保」、「生産性を向上させる社会資本整備」、「魅力ある地域づくり」等、広範な分野にわたって重要な政策を展開している。
- ・近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、集中的に取り組んでいくこととしている。

イ 本県内の状況

- ・「いわて県民計画（2019～2028）」においては、産業を支える社会資本の整備や安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備を重点的な政策の柱として掲げており、この中で道路整備は、地域産業の競争力の向上を目指し、工業製品や農林水産物等の物流の円滑化を図る幹線道路ネットワークを構築することや、地域間の交流・連携の基盤となる広域振興圏相互や隣接県を結ぶ道路の整備を推進するとともに、通勤・通学などの日常生活を支える道作りを進めることとしている。

ウ 施工地域における状況

- ・花巻市、西和賀町のほか、主要地方道花巻大曲線花巻沢内間整備促進期成同盟会より早期開通の要望が出ている。
- ・平成30年度に2度（落石）、令和2年度に1度（仮設道路の流出）全面通行止めが発生している。

○ 中項目評価は、本県内および施工地域において議論や見直しの検討は無いことから「a」とした。

中項目評価	a	b	c
-------	---	---	---

(2) 事業に関する評価指標の推移

	評価指標	配点	事業着手時 評点 H14	前回再評価時 評点(A) H28	今回再評価時 評点(B) R3	増減 (B)-(A)	備考
必要性	車道等幅員	5	5 (現況3.5m)	5 (現況3.5m)	5 (現況3.5m)	0	現況最小幅員3.5m <規定値-2m(6.5m)
	曲線半径	5	5 (現況15m)	5 (現況15m)	5 (現況15m)	0	現況最小曲線半径15m <-10km/h縮小値(50m)
	縦断勾配	5	5 (現況8.0%)	5 (現況8.0%)	5 (現況8.0%)	0	現況最急縦断勾配8% >-10km/h特例値(7.5%)
	歩道設置の必要性	3	0 (不要)	0 (不要)	0 (不要)	0	
	混雑度	2	0 (0.12)	0 (0.05)	0 (0.02)	0	
	定時性	2	1 (8.0km/h)	0 (0.0km/h)	0 (0.0km/h)	0	
	事故率	3	0 (0件/億台キロ)	0 (0件/億台キロ)	0 (0件/億台キロ)	0	
	過疎地域等の振興	5	5 (過疎山村地域)	5 (過疎山村地域)	5 (過疎山村地域)	0	
	計	30	21	20	20	0	
重要性	ネットワークの位置付け	5	4 (地域形成型広域道路)	4 (地域形成型広域道路)	4 (広域振興圏間主要都市連絡道路)	0	
	産業振興、生活支援	15	9 (2項目)	12 (3項目)	12 (3項目)	0	農業支援、林業支援、観光支援
	計	20	13	16	16	0	
緊急性	関連事業の有無	5	0 (無)	0 (無)	0 (無)	0	
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	通行危険箇所
	部分供用の有無	2	2 (有)	2 (有)	2 (有)	0	H19に900mを供用済み
	10km以内に迂回道路	3	3 (無)	3 (無)	3 (無)	0	
	計	15	10	10	10	0	
効率性	費用便益費(B/C)	20	18 (B/C=2.5)	0 (B/C=0.5)	0 (B/C=0.4)	0	修正B/C=0.6
	計	20	18	0	0	0	
熟度	用地取得の進捗状況	3	3 (約60%)	3 (100%)	3 (100%)	0	
	地元要望	12	12 (有)	12 (有)	12 (有)	0	
	計	15	15	15	15	0	
	計	100	77	61	61	0	(今回/前回) 100%

○費用便益分析（全線供用による便益計算）

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（H30.2月）、道路投資の評価に関する指針（案）第1編（H10.6月）、第2編（H11.11月）

（単位：百万円）

区分		事業着手時 (基準年：H14)	前回再評価時 (基準年：H28)	今回再評価時 (基準年：R3)
費用項目	改築費	3,895.1	6,192.9	7,931.9
	維持費	99.9	71.0	57.6
	総費用 (C)	3,995.0	6,263.9	7,989.5
便益項目	時間短縮便益	7,953.7	2,134.4	1,025.9
	走行経費減少便益	756.6	605.5	25.5
	事故減少便益	106.2	82.1	0.1
	3便益 ①	8,816.5	2,822.0	1,051.5
	環境改善便益	27.6	23.7	23.5
	拡張便益	1,235.5	227.2	2,195.7
	その他便益 ②	1,263.1	250.9	2,219.2
	小計 ①+②	10,079.6	3,072.9	3,270.7
	修正便益 ③	5,019.6	1,530.3	2,064.0
	総便益 (B) ①+②+③	15,099.2	4,603.2	5,334.7
費用便益比 B (①+②) / C		2.5	0.5	0.4
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) / C		3.8	0.7	0.6
将来交通量		1,510台/日(H22)	428台/日(R12)	176台/日(R12)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

- ・冬期通行止めの日数（185日間）を便益から控除しており、維持管理費のうち雪寒費を控除している。
- ・基準改定により総便益の考え方を変更。

〔 前々回再評価時まで （3便益+その他便益+修正便益）
 前回再評価時以降 （3便益+その他便益） 〕

○関連する開発プロジェクト等の状況

- ・なし

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計は前回再評価時との増減は無いものの、B/Cが0.6未満であることから「c」とした。

中項目評価	a , b , c
-------	-----------

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形、地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境等保全指針による保全区分 **B**
- ・希少野生動植物生息の有無 **あり**
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 **なし**

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・事業実施にあたり、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者からの施工に対する意見等は以下のとおり。

①主な助言内容

- ・希少な植物の移植が必要。（町有地土捨場内）

②対応状況

- ・工事区域外へ移植を行った。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・再生アスファルト合材の利用 22,000 千円
- ・切土・盛土の植生化 5,300 千円
- ・猛禽類のモニタリング調査の実施 38,000 千円

○中項目評価は、自然環境保護指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って、積極的な対応をしていることから、「a」とした。

中項目評価	a , b , c
-------	-----------

○中項目評価が「a」、「c」、「a」であることから、大項目評価を「B」とした。

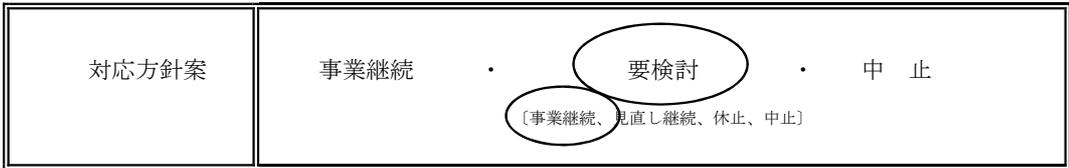
評価	AA , A , B , C
----	----------------

社会
経済
情勢
等
の
変
化

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

- (1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性
 ・ LED照明灯への変更 31,000 千円
- (2) 代替案立案の可能性
 代替案として考えられる他の事業手法
 事業区間のルートは、下記理由により代替案立案の可能性はない。
- ・ 用地買収がすべて完了していること。
 - ・ 未供用区間においては、8号橋上部工が完成し、4号トンネル築造工事を施工中であり、主要な構造物の整備が進んでいること。
 - ・ 終点側900mが平成19年11月に供用開始していること。

(1) 総合評価



(事業名) 地域連携道路整備事業(地域密着型) 小倉山の2

着手年度	完了予定年度	投資事業費(百万円)	進捗率(%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		
				進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
H14	R6	5,039.0	75.2%	A	a	b	B	a	c	a	61	0.4

(修正B/C=0.6)

総合評価

○総合評価に係るコメント

①再評価の総括

- ・ 「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、用地取得率は100%であり、900mを部分供用しているほか、主要構造物である4号トンネルの掘削が順調に進んでおり、令和6年度内での事業完了の目処が立っている。
- ・ 「社会経済情勢等の変化」については、現道において、度々法面の崩落や積雪による全面通行止めを行っており、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの安全性の確保へ大きな影響を及ぼしている。

②対応方針案を「事業継続」とした理由

- ・ 用地取得率は100%であり、主要構造物の4号トンネルの掘削が順調に進んでおり、事業期間内での竣工の見通しが立っている。
 - ・ 評点については60点以上であり、前回評価からの点数の増減は無い。
 - ・ 事業全体のB/Cは0.6未満であるものの、法面の崩落や積雪による全面通行止めの影響により、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの安全性の確保を行うことが必要であることから、事業を着実に推進する必要がある。
 - ・ なお、評価基準年度以降の総費用、総便益により算出した残事業B/Cは2.2である。
- 以上の理由により、「事業継続」としたものである。

(2) 要検討、中止の場合の対応

今後とも、コスト削減に努め、予算を確保し、工程どおりに事業を進めて参る。

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課
路線名等	主要地方道花巻大曲線	地区名	おぐらやま 小倉山の2	市町村 西和賀町

1 現在までの状況

昭和61年度 当該事業を含む、全延長8,450mについて道路整備事業区間として整備開始
 平成9年度 中山工区（2,120m）の整備が完了。
 平成14年度 川舟工区（1,220m）及び小倉山工区（2,730m）の整備が完了。
小倉山の2工区（2,380m）に事業着手。
 平成19年度 小倉山の2工区のうち、終点側900mの部分供用を開始。
 平成23年度 大規模事業評価専門委員会にて、「事業継続」として諮問し妥当と判断。
 平成28年度 大規模事業評価専門委員会にて、「事業継続」として諮問し妥当と判断。

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

当該工区については、花巻市や西和賀町より、当該道路の整備促進に対する要望がある。
 (近年の要望対応状況)

- 花巻市（R2.7月）
- 西和賀町（R2.8月）
- 主要地方道花巻大曲線花巻・沢内整備促進期成同盟会（R2.8月）

3 費用便益分析の詳細（算出方法、算出根拠等）

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（H30.2月）、道路投資の評価に関する指針（案）第1編（H10.6月）、第2編（H11.11月）

(単位：百万円)

費用項目	事業着手時 H14	前回再評価時 H28	今回再評価時		
			R3	残事業B/C	
改築費	3,895.1	6,192.9	7,931.9	1,425.6	
維持費	99.9	71.0	57.6	57.6	
総費用 (C)	3,995.0	6,263.9	7,989.5	1,483.2	
便益項目	時間短縮便益	7,953.7	2,134.4	1,025.9	1,025.9
	走行経費減少便益	756.6	605.5	25.5	25.5
	事故減少便益	106.2	82.1	0.0	0.1
	3 便益 ①	8,816.5	2,822.0	1,051.4	1,051.5
	環境改善便益	27.6	23.7	23.5	23.5
	拡張便益	1,235.5	227.2	2,314.8	2,195.7
	その他便益 ②	1,263.1	250.9	2,338.3	2,219.2
	小計 (①+②)	10,079.6	3,072.9	3,389.7	3,270.7
	修正便益 ③	5,019.6	1,530.3	2,063.9	2,064.0
	総便益 ①+②+③	15,099.2	4,603.2	5,453.6	5,334.7
費用便益比 (B/C)	B(①+②)/C	2.5	0.5	0.4	2.2
(参考)修正費用便益比3(①+②+③)/C		3.8	0.7	0.6	3.5
将来交通量	1,510台/日(H32)	428台/日(R12)	176台/日(R12)	176台/日(R12)	

以下の項目については、いずれも基準年（R12）において現在価値化し便益を算出している。

- ① 改築費：道路建設に要する費用
- ② 維持費：供用開始後50年間における維持管理費
- ③ 時間短縮便益：供用開始後50年間に得られる時間短縮における利益
- ④ 走行経費減少便益：供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果
- ⑤ 事故減少便益：供用開始後50年間において、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果
- ⑥ 環境改善便益：供用開始後50年間における大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果
- ⑦ 拡張便益：供用開始後50年間において、走行時の快適性や救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果
- ⑧ 修正便益：東京を基準（1.0）とし、所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮したもの

4 環境対策の具体的内容

専門家による現地調査の結果により、施工についての指示事項等はない。

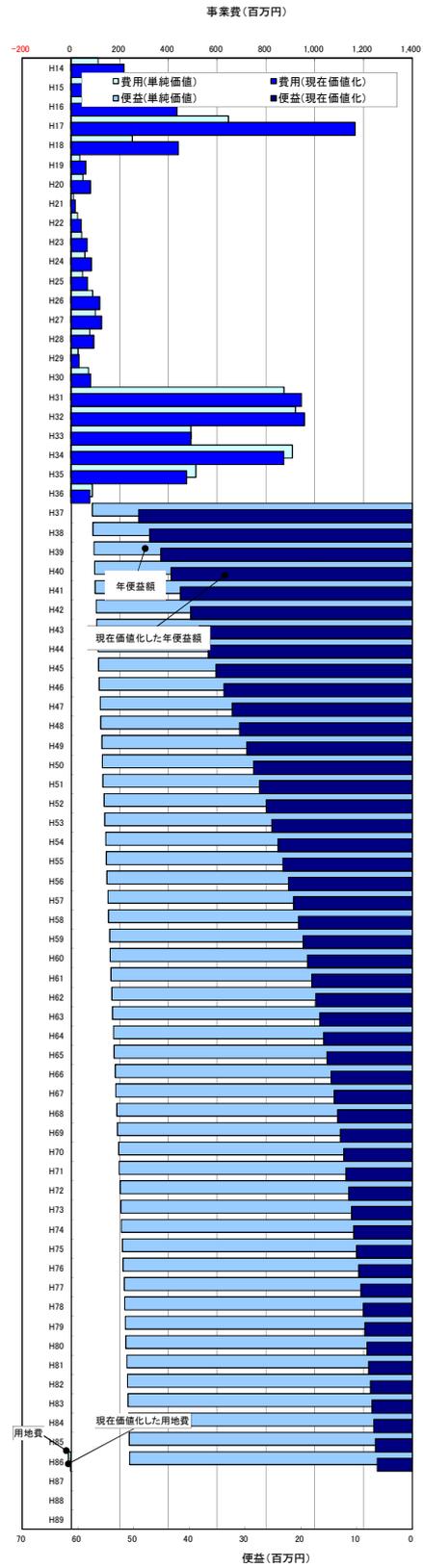
地域連携道路整備事業(地域密着型) (主)花巻大曲線 小倉山の2 実施状況図



費用対効果計算書

48

路線名：花巻大曲線		地区名：小倉山の2						単位：百万円	
年次	現在価値割引率	GDPデフレータ	費用				便益		
			建設費		維持管理費		便益額	現在価値	
			費用	現在価値	費用	現在価値			
-23	H14	2.10885	110.5	111	217.6	0	0.0	0.0	0.0
-22	H15	2.02582	109.0	513	980.1	0	0.0	0.0	0.0
-21	H16	1.94790	107.9	234	434.3	0	0.0	0.0	0.0
-20	H17	1.87298	106.7	646	1,165.7	0	0.0	0.0	0.0
-19	H18	1.80094	105.9	252	440.6	0	0.0	0.0	0.0
-18	H19	1.73168	105.0	36	61.0	0	0.0	0.0	0.0
-17	H20	1.66507	104.4	49	80.3	0	0.0	0.0	0.0
-16	H21	1.60103	103.0	11	17.6	0	0.0	0.0	0.0
-15	H22	1.53945	101.3	27	42.2	0	0.0	0.0	0.0
-14	H23	1.48024	99.8	44	67.1	0	0.0	0.0	0.0
-13	H24	1.42331	99.0	57	84.2	0	0.0	0.0	0.0
-12	H25	1.36857	99.0	48	68.2	0	0.0	0.0	0.0
-11	H26	1.31593	101.5	89	118.6	0	0.0	0.0	0.0
-10	H27	1.26532	103.0	100	126.3	0	0.0	0.0	0.0
-9	H28	1.21665	102.8	77	93.7	0	0.0	0.0	0.0
-8	H29	1.16986	102.8	29	33.9	0	0.0	0.0	0.0
-7	H30	1.12486	102.8	72	81.0	0	0.0	0.0	0.0
-6	H31	1.08160	102.8	874	945.3	0	0.0	0.0	0.0
-5	H32	1.04000	102.8	921	957.8	0	0.0	0.0	0.0
-4	H33	1.00000	102.8	492	492.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H34	0.96154	102.8	908	873.1	0	0.0	0.0	0.0
-2	H35	0.92456	102.8	513	474.3	0	0.0	0.0	0.0
-1	H36	0.88900	102.8	88	78.2	0	0.0	0.0	0.0
0	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.6	57.4	49.1
1	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.5	57.3	47.1
2	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.4	57.1	45.1
3	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.3	57.0	43.3
4	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.2	56.9	41.6
5	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.1	56.7	39.8
6	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.0	56.6	38.2
7	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.0	56.4	36.6
8	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.9	56.3	35.2
9	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.8	56.2	33.8
10	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.7	56.0	32.3
11	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.7	55.9	31.0
12	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.6	55.7	29.7
13	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.5	55.6	28.5
14	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.5	55.5	27.4
15	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.4	55.3	26.2
16	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.4	55.2	25.2
17	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.3	55.0	24.1
18	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.3	54.9	23.2
19	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.2	54.8	22.2
20	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.2	54.6	21.3
21	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.1	54.5	20.4
22	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.1	54.3	19.6
23	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	54.2	18.8
24	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	54.1	18.0
25	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	53.9	17.3
26	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.8	16.6
27	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.6	15.9
28	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.5	15.3
29	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.3	14.6
30	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.2	14.0
31	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.0	13.4
32	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.9	12.9
33	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.7	12.3
34	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.6	11.9
35	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.4	11.4
36	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.3	10.9
37	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.2	10.5
38	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.0	10.0
39	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	51.9	9.6
40	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.7	9.2
41	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.6	8.8
42	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.5	8.5
43	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.4	8.1
44	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.2	7.8
45	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	51.1	7.5
46	H83	0.14071	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	51.0	7.2
47	H84	0.13530	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.9	6.9
48	H85	0.13010	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.8	6.6
49	H86	0.12509	102.8	-10	-1.2	3,016,405.5	0.4	50.7	6.3
50	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
				6,181	7,932	151	58	2,699	1,051 ①
									2,219 ②
									3,270 ①+②
									1,992 ③



(参考) 修正便益 1,992 ③

総便益B(①+②) 3,270 百万円
 総事業費C 7,990 百万円

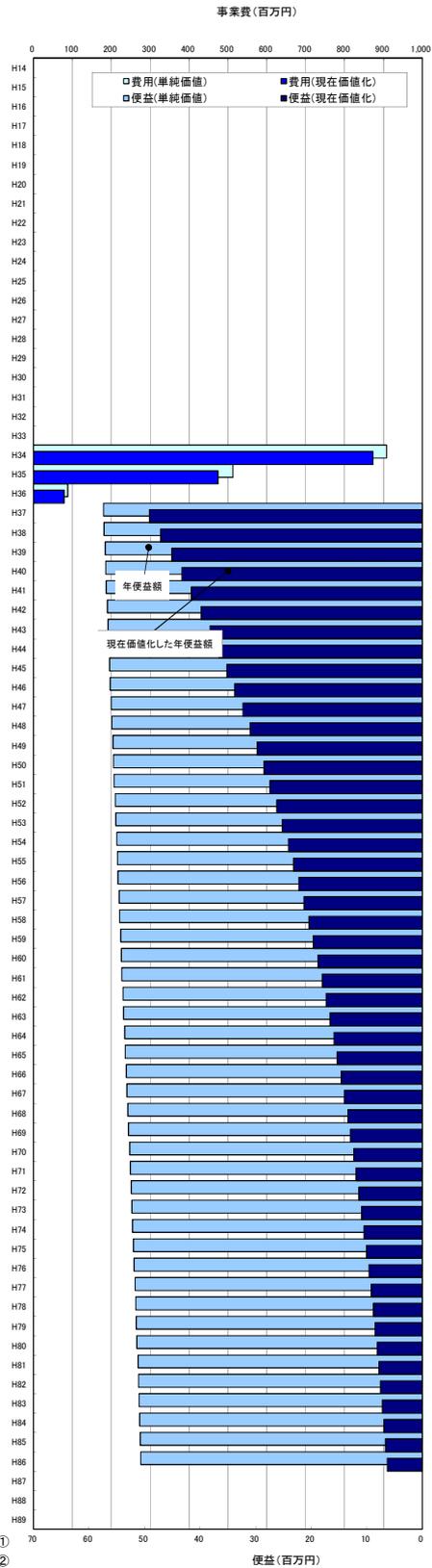
B/C= 0.4

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 0.6

費用対効果計算書

48

路線名：花巻大曲線			地区名：小倉山の2				単位：百万円		
年度	現在価値割引率	GDPデフレーター	費用				便益		
			建設費		維持管理費		便益額	現在価値	
			費用	現在価値	費用	現在価値			
-23	H14	2.10885	110.5	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-22	H15	2.02582	109.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-21	H16	1.94790	107.9	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-20	H17	1.87298	106.7	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-19	H18	1.80094	105.9	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-18	H19	1.73168	105.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-17	H20	1.66507	104.4	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-16	H21	1.60103	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-15	H22	1.53945	101.3	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-14	H23	1.48024	99.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-13	H24	1.42331	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-12	H25	1.36857	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-11	H26	1.31593	101.5	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-10	H27	1.26532	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-9	H28	1.21665	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-8	H29	1.16986	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-7	H30	1.12486	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-6	H31	1.08160	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-5	H32	1.04000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-4	H33	1.00000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H34	0.96154	102.8	908	873.1	0	0.0	0.0	0.0
-2	H35	0.92456	102.8	513	474.3	0	0.0	0.0	0.0
-1	H36	0.88900	102.8	88	78.2	0	0.0	0.0	0.0
0	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,016,405	2.6	57.4	49.1
1	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,016,405	2.5	57.3	47.1
2	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,016,405	2.4	57.1	45.1
3	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,016,405	2.3	57.0	43.3
4	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,016,405	2.2	56.9	41.6
5	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,016,405	2.1	56.7	39.8
6	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,016,405	2.0	56.6	38.2
7	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,016,405	2.0	56.4	36.6
8	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,016,405	1.9	56.3	35.2
9	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,016,405	1.8	56.2	33.8
10	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,016,405	1.7	56.0	32.3
11	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,016,405	1.7	55.9	31.0
12	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,016,405	1.6	55.7	29.7
13	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,016,405	1.5	55.6	28.5
14	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,016,405	1.5	55.5	27.4
15	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,016,405	1.4	55.3	26.2
16	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,016,405	1.4	55.2	25.2
17	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,016,405	1.3	55.0	24.1
18	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,016,405	1.3	54.9	23.2
19	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,016,405	1.2	54.8	22.2
20	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,016,405	1.2	54.6	21.3
21	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,016,405	1.1	54.5	20.4
22	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,016,405	1.1	54.3	19.6
23	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,016,405	1.0	54.2	18.8
24	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,016,405	1.0	54.1	18.0
25	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,016,405	1.0	53.9	17.3
26	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,016,405	0.9	53.8	16.6
27	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,016,405	0.9	53.6	15.9
28	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,016,405	0.9	53.5	15.3
29	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,016,405	0.8	53.3	14.6
30	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,016,405	0.8	53.2	14.0
31	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,016,405	0.8	53.0	13.4
32	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,016,405	0.7	52.9	12.9
33	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,016,405	0.7	52.7	12.3
34	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,016,405	0.7	52.6	11.9
35	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,016,405	0.7	52.4	11.4
36	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,016,405	0.6	52.3	10.9
37	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,016,405	0.6	52.2	10.5
38	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,016,405	0.6	52.0	10.0
39	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,016,405	0.6	51.9	9.6
40	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,016,405	0.5	51.7	9.2
41	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,016,405	0.5	51.6	8.8
42	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,016,405	0.5	51.5	8.5
43	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,016,405	0.5	51.4	8.1
44	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,016,405	0.5	51.2	7.8
45	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,016,405	0.4	51.1	7.5
46	H83	0.14071	102.8	0	0.0	3,016,405	0.4	51.0	7.2
47	H84	0.13530	102.8	0	0.0	3,016,405	0.4	50.9	6.9
48	H85	0.13010	102.8	0	0.0	3,016,405	0.4	50.8	6.6
49	H86	0.12509	102.8	0	0.0	3,016,405	0.4	50.7	6.3
50	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
			1,508	1,426	151	58	2,699	1,051	①
							拡張便益	2,219	②
							総便益	3,270	①+②
							(参考) 修正便益	1,992	③



総便益B(①+②) 3,270 百万円
 総事業費C 1,483 百万円

B/C= 2.2

(参考)修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 3.5